

部活動から地域クラブ活動へ！ 安曇野市が進める部活動の地域移行



安曇野市教育委員会学校教育課

「地域移行ってなんだろう？」「安曇野市はどうなっているの？」

安曇野市が進める地域移行についてお伝えします。



安曇野市が進める「部活動の地域移行」は？

安曇野市教育委員会では、以下の方針により「部活動の地域移行」を進めています。

◇長野県が示す「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」に基づき、**令和8年度末には休日の部活動を地域クラブ活動**とします。また、できるところは平日の活動も地域クラブ活動とします。

◇中学校はもとより、安曇野市スポーツ協会（競技協会）・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ及び民間企業等関係団体とも連携を図りながら、地域クラブ新設を支援します。



そもそも、「部活動の地域移行」ってなんだろうか？

「部活動の地域移行」とは、これまで学校内で行われていた部活動を、地域のクラブや団体が運営する仕組みに変えることです。

このような部活動の大改革を進める理由は大きく2つあります。

- ①生徒にとって、少子化による生徒数の減少により、「一校ではチームが作れない」「仲間と十分な活動ができない」や「他校にある部が自分の学校にはない」といった問題が増えてきたこと。
- ②教職員にとって、専門的な指導が困難、休日の指導・大会引率等が大きな負担となること。

以上の問題を踏まえ、より充実した環境で子どもたちが活動できる地域社会を目指して取り組みが進められています。

これまでは「学校部活動」

- ・学校が主体となって行われている
- ・学校の中で実施するため、ケガなどは学校活動として取り扱われる
- ・指導は学校の先生が行う。部活動指導員などの人材活用を推奨している
- ・部費の負担はあるが、先生が指導するため指導者謝礼は発生しない

これからは「地域クラブ活動」

- ・地域の団体などが主体となって行われている
 - ・学校活動ではないため、ケガの対応のため保険の負担が必要となる
 - ・地域の指導者により技術的な指導がされる
 - ・クラブ運営費や指導者に対する謝礼としての月謝の負担が必要
- 注：地域の指導者に学校の先生がなることもある。



「部活動の地域移行」は安曇野市だけの問題なの？

「部活動の地域移行」は全国的に行われる改革です。自治体の規模などにより地域資源（主に指導者）が異なることから、地域移行の進め方はそれぞれの自治体で異なります。国では、令和5年度から令和7年度までを『改革推進期間』として、まずは、休日の学校部活動を地域へ移行するよう方針を示しています。長野県からは、令和6年3月に「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」が示されました。これによると、国が示す改革期間中に可能な限りの実現を目指しつつも、地域の事情に合わせて、令和8年度末を目途に休日の学校部活動の地域移行を進めるように求められています。



改めて、安曇野市の「部活動の地域移行」の現状と見通しは？



現在、安曇野市内の中学生は、スポーツ活動では、「部活動」や「スポーツ少年団のクラブ」などの団体に所属してスポーツ活動をしています。また、文化芸術活動では、そのほとんどが「部活動」として学校で行われています。

これまで、市教育委員会としては、堀金地域を試行地域として部活動の休日部分をクラブで行うことを目指して取り組み、そのノウハウを活用して全市に拡大する予定で取り組んでいます。しかし、課題が学校や地域ごとに異なっており、なかなか進んでいないのが現状です。

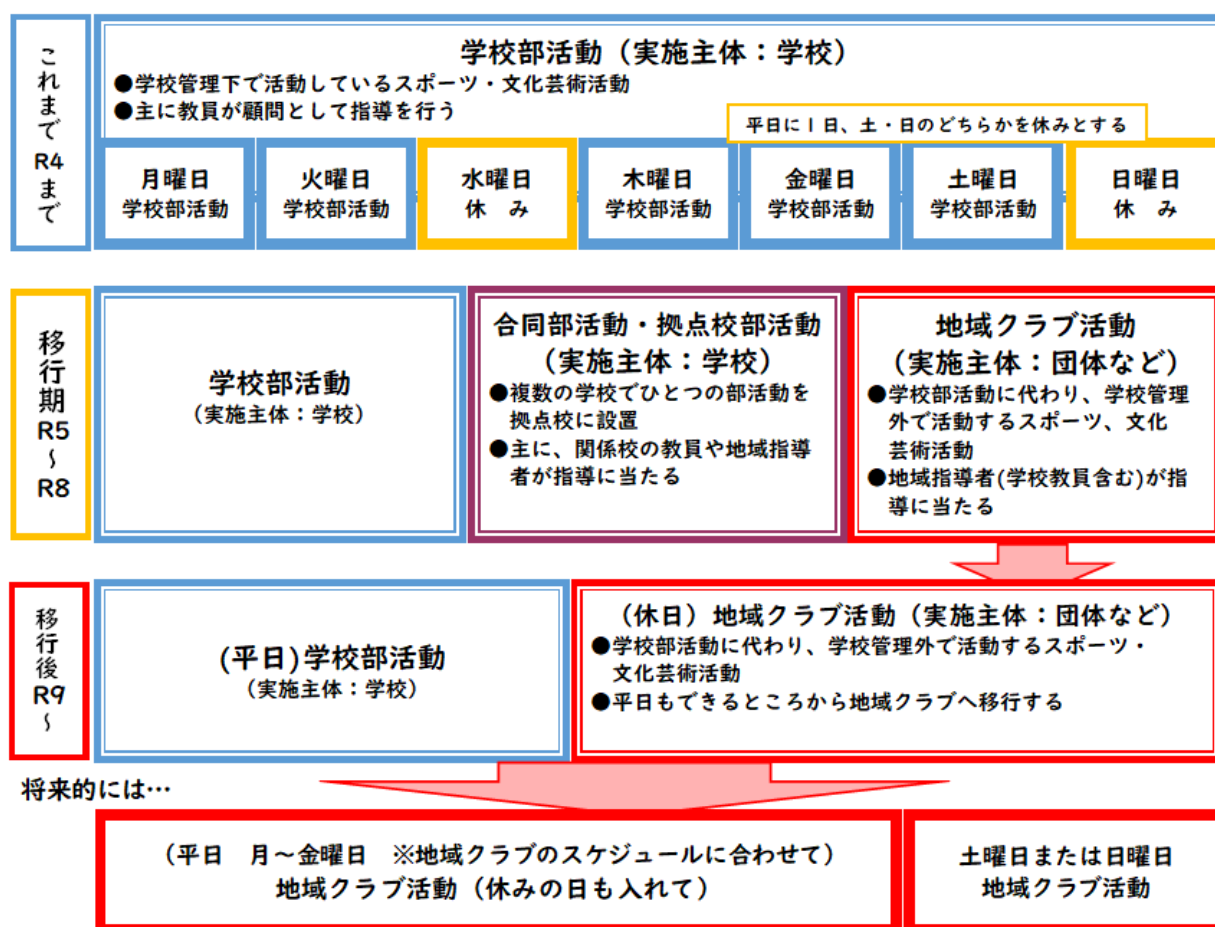
そこで、地域移行への歩みをさらに進めるため、

- ①部活動の地域移行について積極的に発信していくこと
- ②生徒・保護者、学校のニーズを的確に把握していくこと

の2点について早急に改善する必要があると考えています。特に、②については速やかにアンケートを行う予定です。

安曇野市は、**原則として部活動を単位として「地域クラブ」を設立し、休日の活動を部活動から地域クラブ活動とすることを基本**として進めています。なお、人数が少なく活動ができない部活動などについては、**生徒を一つの学校に集めて部活を行う合同部活動（拠点校部活動）の実施も並行して進め、最終的にはそれらの部活動も地域クラブとして活動していくことを目指しています。**

「部活動」と「地域クラブ活動」の活動日のイメージ（例）



【問い合わせ先】 安曇野市教育委員会事務局
学校教育課 担当：古幡・山浦（TEL：71-2461）